

令和4年11月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和4年11月22日（火）午後3時30分～午後4時22分

場 所：大野市役所 2階 大会議室

大野市教育委員会 11月定例会 次第

令和4年11月22日（火）午後3時30分～

大野市役所 大会議室

1 開会

会議録署名人 松田委員 馬道委員

2 10月定例会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第67号 令和4年12月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について

5 付議事項

1) 12月行事予定について

資料1

6 その他

1) 第2回再編準備委員会の協議結果及び学校改修について

資料2

2) 10月の業務報告について

資料3

3) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
事務局（説明者）	事務局長	真田正幸
	教育総務課長	指岡哲郎
	こども支援課長	加藤智恵
	生涯学習・文化財保護課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課課長補佐	小林勝信

<傍聴者>

なし

【開会】

【教育長】 ただいまから大野市教育委員会 11月定例会を開会する。

【教育理念唱和】

【会議録署名人】

【教育長】 本日の会議録署名人は、松田委員、馬道委員に願います。

【10月定例会教育委員会会議録の承認について】

【教育長】 事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】 10月定例会議録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】 事務局の提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】 本日は、保育所訪問お疲れ様でした。せっかくなので、本日は幼児教育について申し上げます。

先般、令和4年度福井県幼児画コンクールが開かれ、本市のあかね保育園が団体の部優秀賞、荒島保育園が奨励賞に入賞した。これは2年連続の快挙と申し上げてよいと考える。また、個人の部でも公立私立ともに多くの保育園から入選している。「絵が評価されたことはとてもうれしいが、それ以上に保育が認められたことが何よりもうれしい」と昨年度同様の関係者の思いをお聞きした。約30年近く絵の指導に取り組んできた中で、絵の指導の前に保育を見つめようと皆で頑張ってきたとのことである。その真摯な姿勢に心から敬意を表したい。

そんな中、先日公立保育園関係者が一堂に会する絵の勉強会が開かれた。勉強会は丸一日の日程で行われた。私と加藤こども支援課長が午後の半日参加してきた。専門家と共に自園の幼児画を用いて、その子が抱えているいろいろな思いや状況を感じ取る研修であった。その専門家の見取りに保育者が納得する場面が多くあり、大変驚いたところである。私などは、黒や灰色を多く使う子はどこか影があり、赤や青色を使う子は明るくおおらかに育っているような印象をもっていたが、一概にそうとは言えず、奥の深さに頭が下がる思いがした。

現在、ある私立園の幼児画作品展が市役所市民ホールで開かれている。「言

葉が未発達な幼児にとって、絵は自分を表現するための最も身近な手段の一つである。子どもの心と子どもの描く絵はつながっている。何を描いたのかという視点で見るのではなく、何を言いたいのだろうかという子どものサインを、見ている自分自身に問いかけてほしい」とのことである。幼児教育に留まらず、正に教育を貫く基本姿勢であると改めて認識を新たにした。

後ほど、本日の保育所等の参観について、委員各位から思うところをお聞かせいただけると幸いである。

【議事】

【教育長】議案第67号 令和4年12月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について、事務局の説明をお願いします。

——<教育委員会事務局長説明>——

【教育長】議案第67号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第67号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第67号については、提案どおり承認する。

【付議事項】

【教育長】付議事項1) 12月行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課長>——

【松谷委員】教育総務課のところで、4日の中学校再編保護者説明会は、大野市内の小学校5年生と6年生の保護者が対象で、申し込み制となっているのか。また、当日来ることができない人には、結果などをまとめた文書を配布するのか。

【教育総務課長】事前に申し込みをしていただくこととしている。これまでの説明会と同じくライブ配信を行うとともに、ホームページで結果の概要を掲載する。

【教育長】他に、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】12月行事予定については、以上とする。

【その他】

【教育長】その他1) 中学校再編準備委員会及び学校改修実施設計等の進捗状況について、説明をお願いします。

——<教育総務課長>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】学校跡地空き校舎の有効活用ということが書いてあるが、現在体育館やグラウンドを社会体育などで利用されているのか。

【教育総務課長】現在、体育館やグラウンドは、スポーツ団体などが利用している。

【松田委員】今、社会体育活動が活発にやっているのか把握していないが、社会体育用の施設が足りないのであれば、地域的、距離的なことも考慮して、体育館やグラウンドを地域の人が優先的に利用できて、市内の一般市民も利用できるようになると思う。

ただ、全ての体育館やグラウンドを残して利用できるようにすればいいのかということになると、これは維持管理経費がかかるのでなかなか難しいが、まずはお互いに譲り合って施設を利用して、それで施設が足りない場合は、空いた体育館やグラウンドを利用できるよう、施設を残していく方策を取っていく方が良く思う。

【教育総務課長】いただいたご意見も参考に、学校跡地空き校舎の有効活用を協議して進めていきたい。

【教育長】他に、ご意見、ご質問などがあればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】ここで1点確認する。車両購入の予算にも関わることなので、準備委員会の報告にあったスクールバスの運行基準について、この通りで良いか。

【松田委員】生徒によっては、スクールバスの停留所に行くよりも、自転車で行った方が早く学校に行ける場合があると想定される。本人が希望した場合に、自転車通学を許可できることも検討していただきたい。

【教育総務課長】部会でもそのような話題も出ているが、今のところスクールバスと自転車を併用することは、通学方法が混合してしまうので、原則はスクールバスということとしている。この点は、今後部会の方でも協議していく。

【松田委員】生徒の安全などを考えると、ある程度枠にはめなければいけないと思うが、ある程度弾力性を持った運用をしていただければ、子どもの希望にも沿える場合があると思うので、ご考慮いただければありがたい。

【教育長】どちらも選択可能ではあるが、「今日は乗る、明日は乗らない」「天候によって乗ったり乗らない」ということになると、乗車確認や安全面などに非常に心配な部分がある。

また、乗車するかしないかを選ぶ場合でも、夏期は自転車で冬期はバスなどの選択があると思うが、学校ともきちんと協議したいと考えている。

それでは、運行基準は準備委員会のおりとさせていただきます。

次にその他2) 10月の業務報告について、説明は省略するが、ご意見、ご質問等があればお願いします。図書館まつりの来場数は、何人だったか。

【生涯学習・文化財保護課長】来場者数は、2, 161人であった。

——<意見・質問なし>——

【教育長】10月の業務報告については、以上とする。本日の保育所等の視察について、委員からご意見いただきたい。

【松田委員】ことばの教室を拡大し、現在は、くれよん教室として平谷こども発達クリニックに委託しているが、発達に心配のあるお子さんを支援する施設として重要だと感じた。今日は、実際に子どもさんと接する姿を見て、子育てをしている皆さんが気になるころがあれば、気楽に相談できる体制を市内で広げていけたら、保護者の安心感とか、子育てに対する不安が取り除かれると思う。

子育て支援センターは、子どもが少ない中でお母さん方が赤ちゃんを連れて集まることよって、悩みが話せたりできると思う。相談業務もあるが、集ま

ることが大事だと感じた。限られた予算の中でなかなか難しいが、できるだけいい施設にしてあげられたらと思う。

保育所は、施設の老朽化でいろいろな部分に支障が出てきている。これもなかなか難しいことがあるかもしれないが、今、国を挙げて子どもの支援ということでやっているのだから、知恵を絞って補助金を取って子どもの施設をますます充実していただきたいと、今日見学させていただきながら思った。

【馬道委員】くれよん教室や子育て支援センターに初めて入って、これまでは、会館内を歩いているときに「子どもたちが何しているのかな」と思う程度しかなかったもので、中に入って実際に見てこういう施設だと感心した

特にくれよん教室は、発達障害のある子どもたちが、訓練することによって幼稚園や保育所あるいは学校で、少しでも自信を持って生活できるようになればいいなと思って見ていた。

保護者も一人で悩まずに、このような施設にすぐ相談することが大事なことだと感じた。また、ウェブでも相談をしてもらえるので、本当に各家庭に広がると良いと思った。

また、保育所や子ども園、小学校や中学校との連携、教員との連携、職員との連携は大事だと感じた。

あかね保育園は、前をよく通るがあんなに広い施設だと思わず、玄関から奥までの廊下が直線ですごく長くとれていて、いい施設だと感じた。また外の砂場でも種類が違う砂があり、本当に楽しそうに遊んでいる姿がいいなと思った。

和泉保育園では、少人数ではあるが、少ないからこそ大変な面があるんだろうなと思って見ていた。和泉地区の子育ての拠点として大事な施設なので、利用者が少なくなっても大事に運営して行って欲しいと思った。

【松谷委員】今回初めて、幼児の分野を見学した。これまでは、学校施設を見て、大野市の子たちが伸び伸び育っているという実感はあったが、幼児教育の現場を見て、大野市の保育の指針である「根っこの保育」の意味が少しわかった気がした。

人間形成の場として、また生活リズムを整えることで、これからの学校教育に向けての準備期間だということは何となくわかっていたが、今日その現場を見ることで、集団生活をする中で、子どもたちが、相乗効果があって人間的に大きくなっていると感じた。

そして、それを細かく見守っている保育士さんたちの気持ちの大きさに感動して、そこが根っこの部分であると実感した。

この期間があつてこそ、小学校や中学校、高校に繋がり、一人の社会人として成長していくので、子どもたちにとってはすごく大事な期間を、このような18年教育を教育委員会で見守ることができることはすごく嬉しいことだと実感できた。また数年後に、根っこの保育で育てられた今の幼児たちが、どのように成長したかを見たいと思った。

【松田委員】保育所の給食は、大変美味しくいただきました。大人でも美味しかったので子どもも美味しく食べていると思っている。また、子どもの近くで温かい給食が作れることは、すごくいいことだと感じた。

【教育長】皆さん、今日ご参加いただきそれぞれの視点でご意見をいただいたことにお礼申し上げます。

この幼児への教育を丁寧に行い、そして小学校や中学校、高校と18年を
しっかり大野の中で繋いで、健やかな子どもたちを育てていける、そんな一助
に我々もなれたらと思う。一緒に頑張りましょう。

【閉会】

【教育長】 これをもって、大野市教育委員会11月定例会を閉会する。

午後4時22分終了

令和4年12月20日

(松田委員)

(馬道委員)